

原木移動による伏せ込み事例集



平成30年3月
大分県きのことグループ

【原木移動事例 1（移動場所：空き地）】

○原木移動による伏せ込みを始めた時期、きっかけ

【始めた時期】 H20頃～

【きっかけ・目的】

急傾斜地や大径のクヌギ原木は、現地での駒打ち・伏せこみ作業が困難であるため、平地に持ち帰り作業を行っている。

○原木移動の方法

【移動時期】 ・2月～3月

【移動方法】 ・現場で玉切った原木をユニックとダンプで搬出

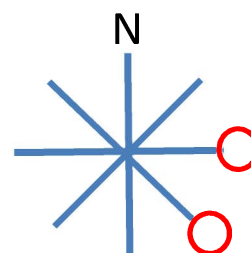
○伏せ込み場所

【場所】 広葉樹林内・ほだ場周辺の空き地

【標高】 約80m

【傾斜】 平地～緩傾斜

【散水施設】 有



○植菌及び伏せ込みの概要

【植菌時期】 3月上旬

【植菌後の管理】 散水管理を実施

【本伏せ時期】 植菌後

【伏せ込み型】 ヨロイ伏せ

【被陰対策】 空き地では、遮光ネットを使用して被陰

【伏せ込み管理】 ※乾燥が続く時には散水を実施



平地まで玉切り原木を移動



平地での植菌作業

○その他（個人の感想等）

- ・現場では扱いにくい大径のクヌギ原木も平坦地に持ってくることで、駒打ち作業などがやりやすくなる。
- ・ほだ場周辺に伏せこむことにより、原木の状態を把握しやすくなり、管理が容易となる。
- ・収穫作業班と原木作業班に分かれて作業を行っている。



伏せ込みの状況

【原木移動事例2（移動場所：林内）】

○原木移動による伏せ込みを始めた時期、きっかけ

【始めた時期】 H20頃～

- 【きっかけ・目的】
- ・水分管理可能な場所で初期活着率等の向上を図るため。
 - ・林内伏せであれば、笠木掛けの手間が省けるため。
 - ・ほだ起こしが容易になる（適期作業）

○原木移動の方法

【移動時期】 ・1月上旬～2月上旬

【移動方法】 ・重機（ウィンチ等）を用いて作業路まで搬出した原木（全幹）を作業路上で玉切り、ユニック車、ダンプを利用して運搬

○伏せ込み場所

【場所】 林内（ヒノキ約35年生）

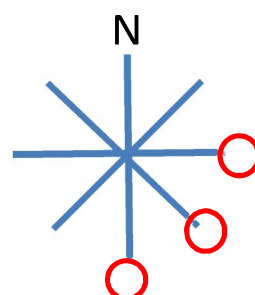
【標高】 260m

【傾斜】 平地、緩傾斜

【散水施設】 有（近くの川から取水）

【その他】 傾斜地は水はけ良いが、一部の谷沿いはやや湿度高い

【方位】



○植菌及び伏せ込みの概要

【植菌時期】 2月中旬～4月下旬（途中、収穫あり）

【植菌後の管理】 ほだ木が過乾燥の場合は伏せ込む前に散水実施

【本伏せ時期】 5月上旬～下旬

【伏せ込み型】 ヨロイ伏せ

【被陰対策】 間伐直後は林内でもほだ木に直射が当たるので、枝葉や遮光ネットで被陰する。

【伏せ込み管理】 乾燥が続く時には散水実施

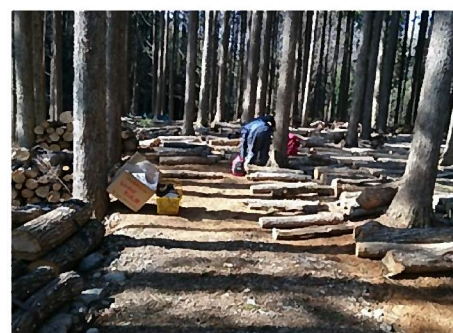
【その他】 伏せ込む前に間伐を実施し、明るさとほだ木への雨当たりの確保を図る

○その他（個人の感想等）

- ・水分管理ができることで、植菌後の降雨が少ない年や作業が遅れた年でも初期の活着伸長促進が図られる。
- ・重機やユニックの利用が容易となり、以前と比べると本伏せやほだ起こし作業が楽になり適期作業が可能となった。
- ・過密な状態でほだ木を伏せ込むと、地形や気象条件にもよるが害菌発生を招く危険があるので注意が必要。
- ・（林内伏せは）通常の裸地伏せと比べると、笠木等の準備も不要で作業が楽だが、ほだ木の出来はやや堅く仕上がる気がする。



平地まで玉切り原木を移動



平地での植菌作業



伏せ込み地に散水設備を設置

【原木移動事例3（移動場所：林内）】

○原木移動による伏せ込みを始めた時期、きっかけ

【始めた時期】 S50年代～

- 【きっかけ・目的】
- ・駒打ち雇用者の作業向上が図れる。
 - ・伏せ込み管理に手が行き届く。
 - ・林内伏せにより、笠木かけ等の作業手間が省略できる。

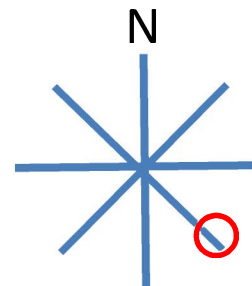
○原木移動の方法

【移動時期】 1月中旬～2月中旬

【移動方法】 ウインチを用いて作業路または平地まで搬出した原木(全幹)を玉切り、伏せ込み場所まで軽トラックで運搬

○伏せ込み場所

- 【場所】 林内(スギ50年生)
【標高】 630m
【傾斜】 平地
【散水施設】 なし
【その他】 風がやや強い。



○植菌及び伏せ込みの概要

【植菌時期】 2月上旬～3月下旬

【植菌後の管理】 植菌作業は作業者を雇用して実施。過乾燥にならないよう見回り管理。

【本伏せ時期】 4月

【伏せ込み型】 ヨロイ伏せ

【被陰対策】 林内のため、被覆は行わないが、日光の当たり具合を見ながら伏せ込み管理を行う。

【伏せ込み管理】 風通し、日当たりを見回り確認

【その他】 2年空けて伏せ込み地として使用する事で連続使用をさせている。

○その他（個人の感想等）

- ・管理本数が多いため、自宅の近場に伏せ込み地を設置している。ほだ木の管理、巡回が容易。
- ・植菌に人を複数人雇用するため、平地に移動させた方が作業が効率的に実施できる。
- ・購入原木の場合は、原木移動させることにより、土地所有者が、後の管理を行いやすい。



作業路まで原木を移動し玉切り



伏せ込み地に移動



平地での植菌作業

【原木移動事例4（移動場所：林内）】

○原木移動による伏せ込みを始めた時期、きっかけ

【始めた時期】 本格的に始めたのはH29春植菌分から

【きっかけ・目的】 種駒補助事業を実施した際、検査のために原木を集材したことが
きっかけ
目的は、軽作業化

○原木移動の方法

【移動時期】 1月～2月（玉切と同時）

【移動方法】 重機（ウィンチ等）で作業道まで搬出した原木（全幹）を作業道上で玉切り、運搬車で運び出し、ワイヤーを掛けてユニック車に積込み運搬

○伏せ込み場所

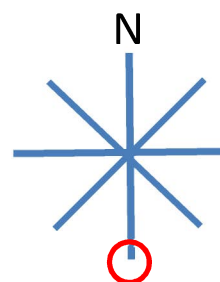
【場所】 竹林

【標高】 約400m

【傾斜】 急傾斜、緩傾斜

【散水施設】 有（近くの川からポンプで引上げ、散水）

【その他】 ほだ場の一部（傾斜が急な箇所）を伏せ込み場として使用



○植菌及び伏せ込みの概要

【植菌時期】 3月～5月（途中、収穫あり）

【植菌後の管理】 植菌後すぐに伏せ込み
ほだ木が過乾燥の場合は散水

【本伏せ時期】 3月～5月

【伏せ込み型】 変則型ヨロイ伏せ

【被陰対策】 作業道沿いで直射が当たる場所は遮光ネットで被陰

【伏せ込み管理】 乾燥が続く時には散水実施

【その他】 竹は伏せ込み前に強度に伐って、風通しを良くする



移動状況



伏せ込み状況

○その他（個人の感想等）

- ・場所が良く日陰で駒打ちができるので、作業しやすく楽
- ・笠木が必要ないので、伏せ込み作業時間の短縮に繋がる
- ・運搬車やユニックを使って、玉切りから運搬まで効率よく作業をしようと思ったら、人手が必要となる。
できるだけ短時間で作業を終わらせることを心掛けており、そのために、玉切りから集材までを林業事業体に委託する。
（20万駒打ちで作業日数は5～6日）
ただし、別途、賃金を要する
- ・やり始めたばかりなのでこれからどんどん改良していきたい



被陰状況

【原木移動事例5（移動場所：空き地）】

○原木移動による伏せ込みを始めた時期、きっかけ

【始めた時期】 平成25年頃から

- 【きっかけ・目的】
- ・駒打ち作業の安全が図られ、高齢者や短期雇用者でも簡単に作業ができる。
 - ・水管理可能な場所で初期活着率等の向上を図ることができる。
 - ・ほだ場が近いので、ほだ起こしが容易になる。

○原木移動の方法

【移動時期】 ・1月中旬～2月中旬

【移動方法】 ・バックホーを用いて作業路を開設し、伐採した原木(全幹)を土木不整地運搬車で林縁まで搬出、作業ヤードで玉切り、ユニック車を利用して運搬。

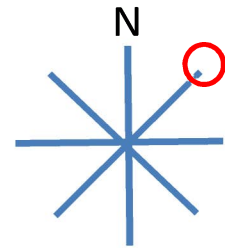
○伏せ込み場所

【場所】 空き地（小学校跡地）

【標高】 150m

【傾斜】 平地

【散水施設】 有（近くの溜池から取水）



○植菌及び伏せ込みの概要

【植菌時期】 2月下旬～3月下旬（途中、収穫あり）

【植菌後の管理】 植菌後の確実な活着を図るため一晩散水を実施。

【本伏せ時期】 3月下旬～4月下旬

【伏せ込み型】 鳥居伏せ

【被陰対策】 土木用建材を使って、遮光ネットをほだ木から30cm程度浮かせて設置。

【伏せ込み管理】 乾燥が続く時は、夕方から2時間程度散水実施。



仮伏せ状況



本伏せ作業途中

○その他（個人の感想等）

- ・原木を移動することで、自宅の近くでほだ木の管理ができる。
- ・重機やユニックの利用が容易となり、本伏せやほだ起こしの作業が楽になった。

【原木移動事例6（移動場所：林内）】

○原木移動による伏せ込みを始めた時期、きっかけ

【始めた時期】 平成24年頃から

- 【きっかけ・目的】
- ・駒打ち作業の安全が図られ、妻でも簡単に作業ができる。
 - ・水分管理可能な場所で初期活着率等の向上を図ることができる。
 - ・ほだ場が近いので、ほだ起こしが容易になる。

○原木移動の方法

【移動時期】 ・3月上旬～3月下旬

【移動方法】 ・伐採後、玉切りした原木を林内運搬車で林縁まで搬出、ユニック車を利用して運搬

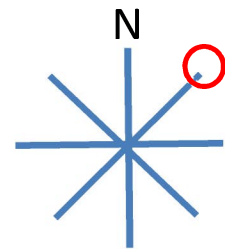
○伏せ込み場所

【場所】 林内（ヒノキ約35年生）

【標高】 250m

【傾斜】 緩傾斜

【散水施設】 有（農業用水）



○植菌及び伏せ込みの概要

【植菌時期】 4月上旬～6月上旬（途中、収穫あり）

【植菌後の管理】 植菌後の確実な活着を図るため一晩散水を実施

【本伏せ時期】 6月中旬

【伏せ込み型】 鳥居伏せ

【被陰対策】 林内に雨が通るように立木を管理。



本伏せ状況

【伏せ込み管理】 乾燥が続く時には、夕方から2時間程度散水を実施

○その他（個人の感想等）

- ・原木を移動することで、自宅の近くでほだ木の管理ができる。
- ・軽トラックやユニック車を作業場に横付けできるので、楽に作業ができる。



散水状況